

診療科目：整形外科

カテゴリー：選択科目

一般目標：整形外科医としてのみならず一般臨床医としての基本的な、脊椎・脊髄・運動器に対する診療に必要な知識、技能、態度を身に付ける。

災害外傷、交通外傷などの緊急を要する疾患患者の初期治療に関する臨床的能力を身に付ける。

高齢化社会に対応した脊椎・脊髄疾患、四肢の運動器障害疾患患者の診療に関する臨床的能力を身に付ける。

リハビリテーション及び社会復帰、日常生活への復帰、Quality of Life に対する理解を深める。

担当科：整形外科

期間：原則 2 か月以上

A 指導体制

1 スタッフ

役割	氏名	職名	医師登録年月日	講習会受講
科目責任者	鳥畠 康充	診療部長	1986. 5. 22	有
指導医	丸箸 兆延	診療部長待遇	1993. 5. 6	有
指導医	岡本 春平	医長	1998. 5. 10	無
指導補助医	林 寛之	医員	2003. 5. 13	-
指導補助医	横川 文彬	医員	2006. 4. 14	-
指導補助医	木谷 聡	医員	2006. 4. 14	-

B 指導原則・方法

1 病棟で、指導医とともに数人の患者を受け持つ。

入院時に問診、身体所見を指導医とともにとり、検査計画をたてる。

病棟における回診、診察、治療を指導医とともに行う。

手術計画をたて、術前カンファレンスで、発表・討論を行う。

手術に助手として入る。

術後の管理を行う。

術後カンファレンスで、発表・討論を行う。

2 週 2 回外来に出て、新患の問診を行う。その後、指導医の診察につき、外来患者の診断、治療、処置を学ぶ。

3 抄読会に参加し、発表を行う。

4 地方会における、臨床発表を行う。

地方会（北陸整形外科集談会など）において、症例報告などを行う。

C 週間スケジュールと研修内容

曜日・時間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
月		手術			病棟業務				リハビリ C.C		
火		外来			手術						
水		外来			検査						
木		手術			手術						
金		回診	手術		手術						

(毎朝 8:15 分より術前、術後 C.C)

研修内容	手術	ミニレクチャー
病棟	脊椎	診察手技
受け持ち患者紹介 脊椎数名 関節数名 診察 患者の状態報告 I C 参加	椎弓形成 開窓術 椎間板摘出 後方進入椎体間固定 外傷	脊椎 股関節膝関節 肩関節 手の外科
検査	関節	脊椎
人工膝関節置換術	人工膝関節置換術	関節
脊髄造影 神経根ブロック 膝関節穿刺 超音波	関節鏡手術 腱板	人工膝関節置換術 前十字靭帯再建 スポーツ障害 肩関節
治療	外傷	外傷
投薬 手術助手、執刀 糸結び 各種ブロック、関節注射 縫合	大腿骨転子部骨折 大腿骨頸部骨折 その他の骨折	骨折 股関節周辺骨折
		その他
		静脈血栓塞栓症 間欠跛行 整形外科医のあり方

D 科目責任者からのメッセージ

運動器疾患に対し、最低限の治療が可能になるプログラムです。当院は、地域の中核病院で3次救命救急センターの指定を受けておりますから、外傷症例は比較的多く経験することができます。将来、整形外科医を希望する先生には、特別なプログラムを準備します。